

農・工のものづくり回廊を支える 浜松三ヶ日・豊橋道路

Vol.
1

第 1 号発行によせて

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会 会長
豊橋商工会議所 会頭 磯村直英

愛知県東三河地域と静岡県西遠地域からなる三遠南部地域は、自動車産業をはじめ様々な企業が集積した工業地帯としてわが国の経済を支えるとともに、温暖な気候に恵まれた一大農産地域でもあります。

しかしながら、当該地域の幹線道路網は、とくに南北軸において脆弱であり経済産業活動の広域展開に支障をきたしております。

そこで、東名高速道路と三遠南信自動車道の結節点である三ヶ日 JCT と国道 23 号バイパスを結ぶ新たな南北軸として『浜松三ヶ日・豊橋道路』を計画し、昨年 2 月 17 日に、県境を越えた 4 市 1 町の行政、商工会議所・商工会、農業団体が一体となって本同盟会を設立し、関係機関等への働きかけを行う体制を整えました。

関係者のお陰により、さっそく平成 20 年度より調査費が計上され、第一歩が刻まれたところでありますが、今後この歩みがさらにスピードアップされ、「浜松三ヶ日・豊橋道路」の建設が確実なものになるよう強くアピールするため、この第 1 号の発刊に至りました。

皆様の力強いご支援ご協力をお願い申し上げます。



浜松三ヶ日・豊橋道路とは？

東名・新東名、国道 1 号、名豊道路（国道 23 号バイパス）の東西軸を南北に連結し、かつ、沿岸部から中山間部への連携を強化するため、三遠南信自動車道と名豊道路を接続する南北方向の幹線道路です。

路線の通過が想定される市町は、浜松、湖西、豊橋ですが、ルートについては未定となっております。

三遠南信自動車道や名豊道路の開通の目途が概ね明らかになってきており、浜松三ヶ日・豊橋道路の整備による縦軸の整備がネットワーク形成に大きな意義を持ちます。



浜松三ヶ日・豊橋道路の必要性【工業編】

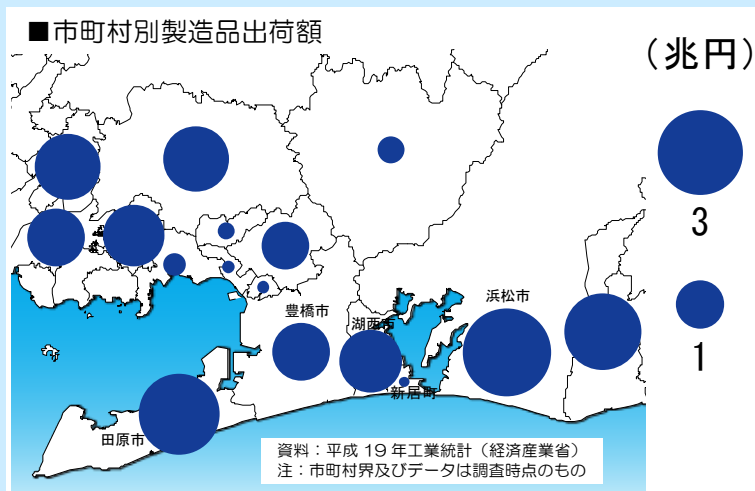
三遠南部地域は、愛知県東三河地域から静岡県西遠地域に展開する「東海ものづくり回廊」とも言うべき、わが国有数の加工組み立て工業の集積地となっています。〔下図参照〕

製造品出荷額は、浜松市の3.2兆円をはじめとして、田原市、湖西市、豊橋市などいずれも1兆円を超え、三遠南部地域4市1町の合計は、全国第13位の福岡県を上回っています。

製造品出荷額データ

浜松市	3兆2,257億円
田原市	2兆7,170億円
湖西市	1兆6,685億円
豊橋市	1兆4,212億円

※平成19年工業統計調査より



スズキ株式会社

湖西市に、敷地面積約110万㎡、総従業員数約2,400人、年間生産台数約70万台、ワゴンRやアルト、スイフトなどスズキを代表する車を生産している組立工場「スズキ湖西工場」があります。

ここで生産された車は現在、主に国道1号バイパスを利用して陸送され、相良（静岡県牧之原市）をはじめとする全国の納整センターを経由して国内のユーザーの下へ、また豊橋港、御前崎港から世界の国々に届けられています。しかし、東名高速道路や第二東名高速道路が使用できれば、搬送時間の短縮につながるばかりか、渋滞緩和、ひいては渋滞時に生じる排出ガスの低減にもつながり、一層効率のよい輸送が可能となります。

このような理由から、スズキでも「浜松三ヶ日・豊橋道路」の一日も早い早期完成に期待しています。



INFORMATION & NEWS

初の調査費計上！2カ年目は増額！

国土交通省は、平成20年5月、税制改正法の成立を受け、平成20年度道路関係追加予算に「浜松三ヶ日・豊橋道路」整備についての調査費を新規計上し、愛知、静岡両県及び浜松市にそれぞれ90万円ずつ計270万円が予算化。さらに平成21年度予算では450万円となりました。

調査主体である、愛知県、静岡県、浜松市は、中部地方整備局のオブザーバー参加を得て、調査体制となる調整会議（事務局 愛知県）を設置しています。

調査の目的は、①三遠地域の県境を越えた連携・交流の実態把握や将来動向を推計し、現況及び将来を見据えた地域整備上の課題の抽出・整理、②課題に対応した対策案について幹線道路ネットワーク等を用いた検証を行い、必要性・緊急性などを取りまとめた新たな連携軸を提案することとされており、数年かけて進められる予定です。

浜松三ヶ日・豊橋道路の必要性【農業編】

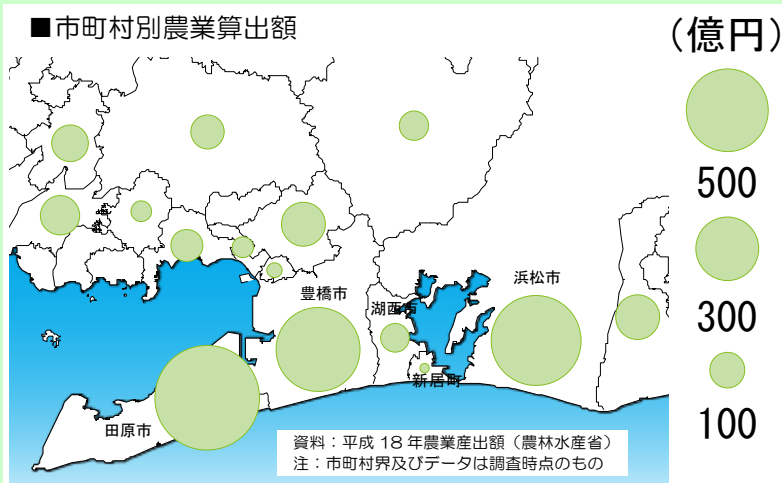
三遠南部地域は、温暖な気候に恵まれており、露地野菜、施設園芸、果樹、畜産、花きなどバラエティに富んだ農業が営まれており、全国有数の農業生産地を形成しています。〔下図参照〕

農業産出額では、田原市（全国 1 位）をはじめ浜松市（同 4 位）、豊橋市（同 6 位）など、全国の上位を占め、三遠南部地域 4 市 1 町の合計は、全国第 20 位の秋田県に相当します。

農業算出額データ

田原市	724 億 4 千万円
浜松市	540 億 5 千万円
豊橋市	473 億 8 千万円

※平成 18 年市町村別農業産出額より



豊橋農業協同組合

JA 豊橋・JA 愛知みなみでの農畜産物の取扱いは約 700 億円、農協以外のものも含めると国内でも有数の一大食糧供給基地です。しかもそのほとんどはトラック輸送であり、特に関東方面への輸送は大きなウエイトを占めています。

また、本年 4 月に JA 豊橋・JA 愛知みなみの共同出資による大型産直所「アグリパーク食彩村」を国道 23 号線沿いにオープンしました。

安全・安心を一人でも多くの方にお届けしたいという私たちの願いを実現するには道路の整備が不可欠です。

農業 (agriculture) という言葉には文化 (culture) という言葉が隠されています。道路によって移動するモノは農畜産物や工業製品ばかりでなく文化そのものです。一日も早い「浜松三ヶ日・豊橋道路」の実現を望んでいます。

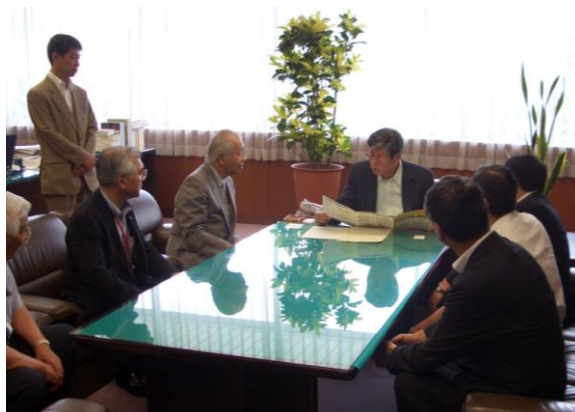


INFORMATION & NEWS

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会の正副会長は、平成 20 年 7 月 28 日に、地元選出の国会議員らとともに、国土交通省を訪れ、同省幹部に対し、調査費予算化のお礼を申し上げるとともに、道路整備の格付けの明確化をはじめとする整備促進についての要望を行いました。

ご対応いただいた谷口博昭技監【写真】や廣瀬輝官房審議官、金井道夫道路局長の各氏に対しては、地域の実情を訴えて、道路の必要性を理解いただきました。

国土交通省へ整備促進を要望



浜松三ヶ日・豊橋道路 沿線地域の紹介

浜松市→湖西市→新居町→豊橋市→田原市

「輝く未来が開けるまち」をめざして

静岡県最西端、愛知県との境に位置する湖西市は、緑豊かな湖西連峰【写真左】、はるか水平線を望む大海原・太平洋、そして美しい水をたたえた汽水湖・浜名湖に囲まれた、自然豊かで温暖な気候の美しいまちです。

本州のほぼ中央に位置するという立地条件に恵まれたことで、交通・輸送の要所としても栄え、人・物・情報が盛んに往来しています。

面積 55 km²、人口 4 万 4 千人の湖西市では、自動車産業を中心とした工業の一層の発展、恵まれた自然を生かした農業・漁業の合理化・近代化、区画整理や道路整備と相伴って進められている商業の充実などのために、様々な行政施策が進められています。

“輝く未来が開けるまち・湖西”をテーマに、人々が快適に暮らすことのできる、美しく住みよいまちづくりを目指しています。



レジャースポット・名所旧跡の宝庫

好評を得ている観光スポットは、マリンスポーツ等で有名な浜名湖、そして年間 10 万人以上が訪れるトレッキングスポットの湖西連峰ハ

イキングコースです。特に大知波峠からの眺めは絶景です。そのほか、本興寺、豊田佐吉記念館、「東海道五十三次」32 番目の宿として栄えた白須賀宿等、歴史的な価値のある有名処が満載で、ぜひ訪れて魅力を体感してみてください。

新居町との合併で「新・湖西市」誕生へ

隣町の新居町との合併が最近の大きなトピックです。6 月 8 日に、新居町町民センターにて「合併協定調印式」【写真右】が開催され、合併協定書への調印が行われました。その後、7 月 31 日に湖西市と新居町の両議会で合併関連議案が議決されたので、来年 3 月に新市「湖西市」が誕生します。



三河港方面との物流利便性向上を期待

三遠南信自動車道及び国道 23 号名豊道路の整備は、現在順調に進められており、その 2 路線を結ぶ『浜松三ヶ日・豊橋道路』の事業化が実現すれば、東名高速・新東名高速へのアクセス性の向上、また、三河港・伊勢湾口方面への物流の利便性が高まり、経済活性化の引き鉄ともなりますので、湖西市においても早期実現を切望しています。

浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会

浜松市・豊橋市・田原市・湖西市・新居町

浜松商工会議所・豊橋商工会議所

田原市商工会・渥美商工会・湖西市商工会・新居町商工会・奥浜名湖商工会

とぴあ浜松農協・豊橋農協・三ヶ日町農協・愛知みなみ農協

事務局：豊橋商工会議所

〒440-8508 愛知県豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 0532-53-7211 FAX 0532-53-7210